



## 『橄欖』第1号～第21号における書誌および目次一覧

資料室 佐藤 亜紀

『橄欖』が発行された大正期は本校にとって、専攻科の充実、第二校舎の献堂、さらには生徒たちによる自主的な「文学会」や「基督教女子青年会」といった教科外活動が盛んになり、まさに宮城女学校の発展期でありました。『天にみ栄え』によれば、明治期を本校の「創建期」、いわばかたちが整えられた時期とするなら、大正期はなかみの充実が図られた時期であり、それはまた、第六代校長 A・K・ファウストの在任期とほぼ重なります。その後、昭和期となり、日本は「満州事変」、「日中戦争」、やがて「太平洋戦争」へと突入していくなか、第七代校長 C・D・クリーテの在任期は、本校にとって試練の幕開けでもありました。第1号が発行された1921（大正10）年から最終号の1940（昭和15）年までの19年間に発行された『橄欖』は、時代の転換期における学校生活の記録でもあり、生徒たちの文芸作品を通してこの時代の彼女たちを感じ取ることができる、貴重な資料です。

この度、資料室では『橄欖』第1号～第21号における書誌および目次一覧を掲載することとしました。目次を見てみますと、生徒たちの創作作品、教科外活動報告、校報欄、同窓会欄など多岐にわたります。この目次一覧が、本学の歩んできた歴史を今後さらに深める手掛かりとなりましたなら幸いです。

### 凡例

1. 漢字は、人名などの固有名詞をのぞいて旧字体を新字体に改めたところも一部ある。
2. 仮名遣い・送り仮名は原則として原文に従った。
3. 学年表記は、原文のままとした。
4. 読みやすさを考慮し、目次に番号や・を付け加えた。

<sup>1</sup> 『橄欖』は、その後、1940（昭和15）年5月15日第1号より、毎月発行・見開きB4版4頁を原則とするタブロイド版として発行される。1944（昭和19）年3月25日第23号をもって、廃刊となるが、1952（昭和27）年に宮城学院高等学校の自治会誌として復刊となる。

## 1. 書誌

号数	出版年	発行月	総頁数	発行者	印刷所	備考
橄欖 1	1921(大正10)	6	68	宮城女学校文学会	東北印刷株式会社	
橄欖 2	1922(大正11)	4	56	宮城女学校文学会	労働会金子記念印刷所	
橄欖 3	1923(大正12)	6	61	宮城女学校文学会	労働会印刷所	
橄欖 4	1924(大正13)	6	41	宮城女学校文学会	松華堂 水野印刷所	
橄欖 5	1925(大正14)	11	38	宮城女学校文学会	東北印刷株式会社	
橄欖 6	1926(大正15)	12	128	宮城女学校文学会	東北印刷株式会社	
橄欖 7	1927(昭和2)	12	79	宮城女学校文学会	東北印刷株式会社	
橄欖 8	1929(昭和4)	3	152	宮城女学校校友会	労働会印刷所	
橄欖 9	1930(昭和5)	3	230	宮城女学校校友会	労働会印刷所	
橄欖 10	1931(昭和6)	4	215	宮城女学校校友会	労働会印刷所	
橄欖 11	1932(昭和7)	3	187	宮城女学校校友会	労働会印刷所	
橄欖 12	1933(昭和8)	3	177	宮城女学校校友会	水野印刷所	広告あり(佐々重、ビクターコロムビアレコード、フランク・スパン「常食改善会」中表紙に、「宮城女学校校友会・宮城女学校同窓会」と連名で記載有(12号～21号)
橄欖 13	1933(昭和8)	12	150	宮城女学校校友会	水野印刷所	
橄欖 14	1934(昭和9)	6	113			奥付なし
橄欖 15	1934(昭和9)	12	132	宮城女学校校友会	水野印刷所	本編98頁+同窓会員名簿34頁
橄欖 16	1935(昭和10)	6	79			奥付なし
橄欖 17	1936(昭和11)	2	71	宮城女学校校友会	水野印刷所	
橄欖 18	欠号					
橄欖 19	1937(昭和12)	12	177	宮城女学校校友会	水野印刷所	
橄欖 20	1938(昭和13)	12	72			奥付なし
橄欖 21	1940(昭和15)	3	60	宮城女学校校友会	水野印刷所	

## 2. 目次(記事)一覧

号数	年	目次(記事)	執筆者
檄攬 1号	1921年	1. コロタイプ写真版(校舎全景、第二校舎) 2. 檄攬に題して 3. 巻頭の辞 4. 檄攬の発刊によせて 5. 論説 ・きまりきった話 6. 英文 ・The Object of the Rainbow Club of the Y.W.C.A ・If I Were an Elf 7. 文苑 ・卒業にのぞんで(五年の作) ・遠足 ・故里戀し ・雪の朝(一年の作) ・冬の朝(一年の作) ・我が家(一年の作) ・路上の氷(二年の作) ・我が学校(二年の作) ・私は黒板である ・平和な初春(三年の作) ・夕暮れ(三年の作) ・新緑 ・私とTさん(三年の作) ・断想 ・光 ・旅行先から(五年の作) ・昔のページより ・光 ・若葉の下に立ちて ・初夏のエンゼル ・断片集 ・影を追ふて ・三つ葉 8. 新体詩 ・「聖クララを想ひて。」 ・カラツ風が吹く ・灰色の日 ・星と山茶花 ・豊平川のほとりにて ・風の夜 9. 和歌(十首) 10. 校内の今日此頃 イ)英語会記事 ロ)音楽クラブ記事 ハ)女子青年会記事 ニ)文学会報告	土井晩翠 会長 ダクター・ファウスト 雑誌部長 小野玉枝 高女五年 田中ちゑ 英専三 阿部エイ 高女五年 片桐きよ 卒業生 小館赤子 一年 大越やえ子 一年 齋藤きよ子 二年 土井 信 二年 佐久間富貴子 二年 大槻邦子 三年 根本和子 三年 澤口勝子 三年 遠藤クマ子 四年 佐久間百合子 四年 齋藤てる 四年 土井 照 四年 F子 青 銀 五年 菊地ふみ子 卒業生 くれなみ 英専一 細谷えん 英専一 渡邊三千代 家政一 鈴木千代 I・M 聖専二 T子 家専二 T子 聖専一 T子 瑠璃草 青井空子 H女 高女二年 高橋はな子 遠藤玖磨子 鈴木富壽代

号数	年	目次(記事)	執筆者
第2号	1922年	1. コロタイプ写真版(大正10年度文学大会「劇」 クリスマスキャロー心の家) 2. 成田榮嬢を悼みて 3. 本会のためファウスト会長の選ばれし「詩篇」の一節 4. 「自ら培へ」 5. 英文 (1) Resolved that Marquis Okuma was A Greater Statesman than Prince Yamagata a. The affirmative b. The negative (2) Writing is a Joy 6. 論説 ・ベツレヘムの星 7. 文苑 ・人魚 ・初春の風 ・日誌の一節 ・小さな芽生 ・春あさく ・小さい私の十字架 ・思ひ出と別れ ・弟 ・暮れゆく年 ・すみれ咲く日 ・小さな感謝 ・お床・薮甘子・水車小舎 ・真白い蛾 ・雪 ・日誌の中より ・ひとりごと ・凝視 8. 和歌 ・よるの海 ・淋しさ ・マリヤの像を求めて ・皆様の御好な御花は? 9. 記事 ・青年会記事 ・文学会報告 10. 雑報 ・謝恩会 ・卒業式	土井晩翠  小野玉枝  英三 條 フミエ 英三 阿部エイ 五年 田中ちゑ  聖二 増子わくり  一年 大越やえ  二年 N子 ○子 遠藤 くま 四年 栗村 道 美繪子 五年 K子 K子 紀水子 秋 根本スズ 秋 三年 鈴木富壽代 古山すみ江 星夜 H  Y子 三年 鈴木富壽代 瑛子
第3号	1923年	1. コロタイプ写真版(大正11年11月文芸会ドラマ「キングレア」) (同上 「洞窟から来た子」) 2. 牡丹 3. 船を乗り出せ 4. 英文 ・別れにのぞみて 5. 文苑、詩 ・魂の憩ひ	土井晩翠 ホイットマン  Catharine L.Nau、Alliene S.Dechant

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の雪 ・春風と鈴蘭</li> <li>・流れ星 ・猫</li> <li>・童謡二題 北斗星 お庭の隅から</li> <li>・貝がら</li> <li>・祖母</li> <li>・春雨</li> <li>・逝きし友</li> <li>・亡き友の追憶</li> <li>・小さな反逆者のノートから</li> <li>・その頃</li> <li>・魂と魂との別れ</li> <li>・夕暮れ ・夢</li> <li>・春の雨 ・いちわる時計</li> <li>・夜汽車 ・さびし</li> <li>・或夜</li> <li>・異端者</li> <li>・麗しの異教徒へ</li> <li>・嵐</li> <li>・虫っこ</li> <li>・詩二編</li> <li>・「生きる喜」を實感する人々に</li> <li>・みだれた足跡</li> <li>・小さい頭の素通り</li> <li>・断想片</li> </ul> <p>6. 写真(運動部)</p> <p>7. 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年会</li> <li>・文学会大会及例会 校友会委員</li> <li>・会計</li> <li>・編輯後記</li> </ul>	<p>中村みち子</p> <p>渡邊千秋</p> <p>野の花</p> <p>S・I</p> <p>くま子</p> <p>渡邊榮子</p> <p>佐伯きん子</p> <p>小野はつゑ</p> <p>T・W</p> <p>S子</p> <p>佐藤郁子</p> <p>植村幸枝</p> <p>遠藤らく子</p> <p>田鶴子</p> <p>はつ枝</p> <p>佐藤郁子</p> <p>佐藤今子</p> <p>山本田鶴子</p> <p>白雪</p> <p>緋沙湖</p>
第4号	1924年	<p>1. 写真(メーボルダンス、綱引競争)</p> <p>2. 巻頭言</p> <p>3. 「詩」チャイルド・ハロウドの巡禮より</p> <p>4. 生きる我</p> <p>5. 詩二編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春月の下に偲ぶ ・青年へ!</li> <li>・一 ・二</li> </ul> <p>6. 童謡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残った梅の花</li> <li>・さくら</li> </ul> <p>7. 小曲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三日月</li> </ul> <p>8. 和歌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五首 古きノートより</li> <li>・三首 旅行より</li> <li>・二首 無題</li> <li>・一首</li> <li>・一首</li> </ul>	<p>委員</p> <p>土井晩翠譯</p> <p>郁子</p> <p>後藤とみ</p> <p>N・Y</p> <p>渡邊英子</p> <p>小原京子</p> <p>丘</p> <p>丘</p> <p>野菊</p> <p>ほほゑみ</p> <p>星花</p> <p>萩のつゆ</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		9. 譚詩 ・愛 10. 幽薜の春 11. うすれ行く姿 12. 傀儡師にあやつられた気の毒な人々の話 13. 編輯後記	コレッチ作 佐藤 今譯 鈴木イサヲ 佐藤 今 鈴木イサヲ 委員
第5号	1925年	1. 輪おどり 2. 「金華山より太平洋を望みて」より 3. 小品 ・私のお部屋 ・思ひ出 ・冬の朝 ・メートルの歌 4. 戯曲 ・月を射るもの(一幕) ・荒原の或る夜 5. 詩二篇 ・自分に云つてきかせる言葉 ・センチメンタル 6. 雲雀へよする 7. 彼女の話 8. 短歌 ・スフィンクス ・初秋雑詠 9. 二人の僕 10. 見はてぬ夢 11. 編輯後記	ボオル・フォオル 土井晩翠  一年 佐藤静枝 二年 石田房子 二年 石崎恒子 二年 内島衛子  英三 志村京子 家三 T・K  英二 みどり 英二 度會たか 英二 山本鶴子  英三 江須 愛 家三 榎野葉子 聖一 饒 英三 鈴木いさを 委員
第6号 宮城女学校 創立第40年 記念号	1926年	1. 創立第40年記念式写真 2. 記念式列席同窓会員写真 3. おもひで 4. 祝辞 親愛なる諸姉 5. 祝辞 創立40年記念式祝辞  6. 祝辞 創立40年記念式祝辞 7. 小品及創作詩 ・かくれんぼ ・秋月 ・湯気につつまれて ・或愚か者の断片 ・山にのぼりて ・秋の夕 ・夏の海辺に立ちて ・たまご ・赤ちゃん ・夏休み日記の一節 ・流れ星 ・クローヴァをもとめて ・ある夜の夢 ・運丸 ・祖母 ・和歌	土井晩翠 フアウスト校長 米国リフォームド教会 婦人ミッション会長 ミセス、アンナワルト 宮城県知事 上田萬平  五年 渡邊英子 三年 津久井歌子 K四 佐藤英子 英一 加納トミコ 本科一年 伊藤さつ子 四年 K・K まひる 一年 高橋初恵 高五 奥 あや子 二年 佐藤静枝 四年 S・T 古澤さち子 四年 清水きよえ 四年 遠藤ミチ ゆり子

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋</li> <li>・一隅より</li> <li>・秋風</li> <li>・青梅</li> <li>・夢</li> <li>・暗い部屋</li> <li>・生命</li> <li>・秋夜に</li> <li>・ある人間</li> <li>・或日のこと</li> <li>8. 学校記事</li> <li>9. 校友会会計報告</li> <li>10. 女子青年会報告</li> <li>11. 記念式記事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏会記事</li> <li>・運動会記事(写真入り)</li> <li>・文学会記事</li> <li>・バザー記事(写真入り)</li> </ul> </li> <li>12. 勤続教職員謝恩会記事</li> <li>13. 同窓会報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京支部</li> <li>・神戸支部</li> </ul> </li> <li>14. カンサス便り</li> <li>15. 同窓祝辞及消息(写真入り)</li> <li>16. 同窓住所姓名</li> <li>17. 教職員住所氏名</li> <li>18. 英文欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・英作文 祝辞</li> <li>・クロバの葉かけ</li> </ul> </li> <li>19. 文学大会執行順序</li> <li>20. 宮城女学校沿革</li> <li>21. 編輯後記</li> </ul>	<p>一年 廣瀬シン 黒桔梗 四年 K・K 五年 W・H 一年 鈴木とし子 聖三 清水定代 四年 遠藤みち子 四年 岩渕百合子 英一 加納登美子 英三 ぎやう子 三浦忠之丞 鈴木寅之進 根本和子 一見 清 森 まつ 千葉 定 黒澤良平 原田ことち 中村菊代 原田ことち 岡田佐和 三宅千代 ミス.リンゼー</p> <p>Allen K.Faust、Mrs.A.K.Faust E.3. Matsuko Hayashi</p>
第7号	1927年	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大正15年3月卒業写真</li> <li>2. 昭和2年3月卒業写真</li> <li>3. 青年を歌へる</li> <li>4. 小品及創作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・闇</li> <li>・或少年の悲しみ</li> <li>・You can only be an Imitator</li> <li>・お里</li> <li>・兄弟</li> <li>・Rに寄せる断片手記</li> <li>・秋</li> <li>・秋</li> <li>・秋を見つめて</li> <li>・木の葉のつぶやき</li> <li>・外出日 ・夕暮れ</li> <li>・夜のほひ朝のほひ</li> <li>・雨の夜</li> </ul> </li> </ol>	<p>土井晚翠 加納登美子 伏見レイコ 澤 杏子 椿 鄭 慶 鄭 慶 佐藤静枝 阿部正子 大和淑子 T・A 木村國枝 小野寺かつ子 澤木正枝</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卵 ・かへりみち</li> <li>・幼い日の心</li> <li>・愚痴</li> <li>・たそがれ</li> <li>・散つたコスモスと残されたコスモス</li> <li>・故郷の雑感</li> <li>・山に登りて</li> <li>・逝きし幸子さん</li> <li>・思ひ出</li> <li>・嵐の後</li> </ul>	遠藤ミチコ 半澤 頼 S・E 生江西子 加藤きよ子 平 あい子 A・T 矢野恵智子 桑島邦子 加藤キヨ
		5. 詩歌 <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾張野の歌</li> <li>・路</li> <li>・ふと思ふ</li> <li>・思ひ出のままに</li> <li>・寂しき夜</li> <li>・菊 ・笹</li> <li>・夕暮れに</li> <li>・からす</li> <li>・キューピーさん</li> <li>・逝ける弟に</li> <li>・短編四篇</li> <li>・ミハエルエルデンコの演奏会</li> </ul>	中島慶治 菊地つね子 暁星 A・T 加藤きよ 椿 石田 幸 小島美千子 澤木正枝 Y・S 鄭 慶 時子
		6. 文学会記事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今秋の文学会</li> <li>・祝電祝詞</li> <li>・書簡</li> <li>・文学大会プログラム</li> <li>・賛助会員宿所姓名</li> <li>・現在会員宿所姓名</li> <li>・宮城女学校校友会規則</li> </ul>	委員  石水たか子
		7. 編輯後記	委員
第8号	1929年	1. 御大禮記念建設噴水池写真 2. 昭和3年度卒業写真 3. 文芸部大会英語劇写真 4. 昭和3年度校友会役員一同写真 5. 偶吟 6. 伝道者ツアラツストラ 7. 専攻科欄 創作及小品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・哄笑(ニユライヴィッチ アントレエーフ作)</li> <li>・焼津にて(ラフカデオ ヘルン作)</li> <li>・愛は勝つ</li> <li>・語る</li> <li>・矢</li> <li>・シュームス</li> <li>・人形を見て</li> <li>・冷き實體</li> </ul>	土井晚翠 教授 文学士 中嶋慶治  英三 加納とみ子譯 英三 渡會美和譯 聖三 千繪子 聖三 めぐみ 英二 ルミ子 英三 岡 よし子 英予 高橋八重 英一 S・K



号数	年	目次(記事)	執筆者
		・千代	英予 Y・T
		歌	
		・ロなしの言葉	英三 くちなし
		・秋の感情	聖三 渡邊智恵子
		・愁の春	英一 W
		・歌十二首	英一 橘川静枝
		・淋しわれ	英一 T・O
		基督教女子青年会記事	
		・御殿場の修養会に就て	聖二 鈴木せん
		・女子青年会育児院児童クリスマス	高五 桑原
		・御殿場生活を思ひ出して	高五 岡崎艶子
		8. 高等女学科欄	
		創作及小品	
		・一番美しい顔	五 石崎恒子
		・おのが姿をみつめて	四 大原京子
		・春のおとづれ	三 佐藤千代子
		・叔父さんのお帰りの日	二 芙紗子
		・ひらかない窓	一 谷井喜美
		・星を見て思ひ出すこと	五 石田房子
		・去り行く年	四 佐藤静江
		・母いづこに居ますや	三 我妻さだ子
		・帰郷もいいけど	二 U・S
		・なくなった財布	一 谷井たつの
		・或る夏の夜	五 加藤みよ子
		・読書	四 紺野ゑん子
		・故郷へ	三 阿部とみ子
		・或る一日	二 M子
		・鉄の番人	一 新野貴美
		・春を待つ	五 俊
		・看護	四 谷地歌子
		・漂泊の少女	三 石田幸子
		・海の惨事	二 M・O
		・窓外の景色	四 中目ふみ
		・文芸会の夕	三 直海下枝
		・母	二 伊藤菊子
		・幼き日	二 A・T
		詩歌	
		創作及小品	
		・わかれ	五 俊
		・愛鞭	五 武田いつ子
		・寺の灯	四 千枝子
		・ベニダリヤ ・除夜の鐘	五 庄司M子
		・星のみぞ知る	三 大條公子
		・をりをりに	五 俊
		・折にふれて	三 千葉綾子
		9. 通信欄	
		10. 第36回文芸会記事	
		11. 賛助員住所氏名	

号数	年	目次(記事)	執筆者
		12. 会員住所氏名 13. 校友会規則	
第9号	1930年	1. 昭和4年度全校生徒写真 2. 昭和3年度卒業生写真 3. 文芸部大会写真 4. 「ファウスト」に就いて(講演) 5. 女性作家出でよ(講演大要) 6. 無名戦士を弔ふ(講演) 7. トマス・ハアデの宿命論 8. 婦人の言葉に就て 9. 神の約を慕ひて 10. 繁がれたる天馬 11. 創作及小品 ・妻を喜ばする為に(ハアディ作) ・日本の歴史(答案) ・乙女塚 ・戯曲 都落ち ・庭を見て ・妹 ・お祝の後 ・道ばたの花 ・寺内綾子夫人 ・清ちゃんと私 ・海の思ひ出 ・小春日和の午後 ・私のリリー ・ファウスト校長の御帰国の報を得て歌へる ・折にふれて ・芽 ・心 ・夕もや ・生きて居る ・島の小娘 ・常暗より ・雑詠 ・死よ汝はいづこにありや ・初春小景 ・折にふれて ・詠草 12. 基督教女子青年会夏期修養会記事 ・夏期修養会記事 ・修養会報告 ・夏期修養会報告 ・御殿場の修養会について ・修養会に出席して 13. 同窓会通信 14. 校友会規則 15. 賛助会員氏名	会長 ダクター・エ・ケ・ファウスト ラルフ・ホヂスン 廣濱東北大学助教授 賛助会員 中嶋慶治 賛助会員 菊澤季生 賛助会員 館岡 剛 賛助会員 黒澤良平  英三 武者公子 英三 境 節子 英一 R・S 英予 高木八十 高五 佐藤静枝 高五 徳江美恵子 高五 今野ますみ 高五 池田世起子 高四 我妻さだ子 高三 木箱 高三 M 高三 ふさ子 高二 渡邊愛子 同窓会員 諏訪時子 同窓会員 諏訪時子 家政 聡子 家政 聡子 家一 蜻蛉 聖予 砂原美沙 聖予 砂原美沙 聖三 千登世 聖三 杜 三子 聖三 津多枝 家一 眞沙 高四 宵待草 高女 三年  音二 片桐はる 音三 東野優子 音三 横山きゑ 高女四 我妻さだ子 高女四 吉田いね子

号数	年	目次(記事)	執筆者
		16. 会員氏名 17. 同窓会員氏名	
第10号	1931年	<p>謹みてファウスト前校長を送り クリーテ新校長を迎ふ</p> <p>1. 宮城女学校前校長ファウスト氏御夫妻写真 2. 宮城女学校長クリーテ氏御夫妻写真 3. 昭和4年度卒業生写真 4. 文芸部大会写真(其の1) 5. 文芸部大会写真(其の2) 6. ファウスト前校長略歴 7. ファウスト校長の思出 8. 送別の辞 送別の辞 送別の辞 9. 宮城女学校の好機 10. 歓迎の辞(和譯) 歓迎の歌 歓迎の歌 11. 国字論の発達を觀る 12. ジャポニカ日本周遊(ヘンリ・ヴァン・ダイク) 13. 品質(ジョン・ゴールスワーヅィ作) 14. 創作及小品 ・家庭生活に於ける創造精神 ・友情の死(ハマトン著「人間交際論」の一章) ・日毎のあゆみ ・モツアルト(ローヤル・リーダー第5巻ヨリ) ・感謝と祈り ・ディビット・スウオン(ホーソン作) ・春の海の幻想 ・ある断片日記 ・白い水仙 ・月光に寄せて ・或る土曜日の日記 ・東の空 ・或る女 ・若い音楽家 ・三人のなまけ仲間 ・勇ましい鍋の兵隊 ・机のみかんをみながら ・幸少き妹なれば ・ちぎれ雲 ・スキー ・人違ひ ・はかなき友に捧ぐ ・或る少年 ・寝坊 15. 詩歌 ・散文詩二篇(ツルゲネフ作) ・雨足</p>	<p>原田ことち 職員総代 黒澤良平 専攻科総代 阿部都喜子 高等女学科総代 我妻さだ子 校友会長 カール・デ・クリーテ 理事会総代 ケイ・アイ・ハンセン 専攻科総代 菊地たみ 高等女学科総代 小野寺かつ子 菊澤季生 同窓会員 佐々木榮子譯 英三 池内キヨ子譯</p> <p>家三 堀籠豊子 英三 及川トキ子譯 家 H 英予 村上恭子譯 家三 ほりごめ 英三 片倉 徳譯 家二 みどり 英三 I・K 英一 T・S 白椿 英子 高五 岡 たかね 高四 T 高四 澤木正枝 高四 小野塚百合子譯 高四 奥山クニ 高四 憂愁 高三 A・W 高三 千葉孝子 高三 大友佳子 高三 今野政代 高三 齋藤房子 高三 新野木味子 高三 谷井喜美</p> <p>英三 池内キヨ譯 道子</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・草に訴へて</li> <li>・詩二篇</li> <li>・まくらべに居て(外二篇)</li> <li>・ある日</li> <li>・長濱にて</li> <li>・永久の美しさ</li> <li>・粉雪(外二篇)</li> <li>・去り行く薔薇</li> <li>・小曲</li> <li>・矢車草</li> <li>・わかれ</li> <li>・亡き母を憶ふ</li> <li>・雑詠</li> <li>・つれづれに</li> <li>・折にふれて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家二 みどり</li> <li>英三 I・K</li> <li>英三 緑瑤女</li> <li>英一 澤田千代子</li> <li>家一 H・U</li> <li>高三 C・T</li> <li>高三 A・W</li> <li>高三 T・N</li> <li>高四 片岡節子譯</li> <li>英三 S</li> <li>英三 及川トキ子</li> <li>英三 緑瑤女</li> <li>道子</li> <li>家一 H・U</li> <li>高五 千葉綾子</li> </ul>
		16. 女子青年会富士岡荘修養会報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖一 佐藤知子、英二 矢野恵智子</li> <li>英三 阿部都喜子、英三 梶原藍子</li> <li>高四 一見とみ 高五 小野寺かつ子</li> </ul>
		17. 同窓会員消息	
		18. バザーに関するミセス・ファウストの御手紙	
		19. ブーフル先生のお便り	
		20. 高等女学科同窓会消息	
		21. 英文専攻科同窓会消息	
		22. 聖書専攻科同窓会消息	
		23. 音楽専攻科同窓会消息	
		24. 家政専攻科同窓会消息	
第11号	1932年	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昭和5年度卒業生専攻部写真</li> <li>2. 昭和5年度卒業生高等女学部写真</li> <li>3. ファウスト記念館全景及室内写真</li> <li>4. 文芸大会写真</li> <li>5. 母權論</li> <li>6. 東北方言の特徴に就いて</li> <li>7. 基督教教理、異端、及び分派</li> <li>8. 科学的音楽理論とその教育的意義</li> <li>9. 創作及小品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・樞の木(イイ・ヴィ・ルカス)</li> <li>・ブラツグタロス(ダンセニイ卿)</li> <li>・お月様のお話 アンダーセン童話集より</li> <li>・平安時代の服装</li> <li>・童話試作</li> <li>・美代ちゃんの羽子板</li> <li>・お餅</li> <li>・ショパン</li> <li>・あをぞら</li> <li>・角兵衛獅子 外一篇</li> <li>・追憶</li> <li>・都会の響き</li> <li>・小徑に寄する 外一篇</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北帝国大学教授 中川善之助先生</li> <li>賛助会員 菊澤季生</li> <li>賛助会員 館岡 剛</li> <li>賛助会員 高野 瀏</li> <li>英三 矢野恵智子譯</li> <li>英三 佐々木 信譯</li> <li>英三 江刺家 愛譯</li> <li>家三 佐々木ふみ子</li> <li>家政科三年一同</li> <li>家三 彰子</li> <li>家三 富美子</li> <li>音二 水戸照子</li> <li>英二 みどり</li> <li>高五 奥山</li> <li>高五 蛍草</li> <li>高四 齋藤房子</li> <li>高三 戸田春子</li> </ul>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の或る朝</li> <li>・夏休みの思出(登別名物地獄谷)</li> </ul> <p>10. 詩歌俳句</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句 雑詠</li> <li>・園丁第52篇(タゴール)</li> <li>・無題(夏目漱石)</li> <li>・怪現(野口米次郎)</li> <li>・雑感</li> <li>・雑詠</li> </ul> <p>11. 伊東文子さんを弔ふ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親友を失って</li> <li>・思ひ出をたどりて</li> <li>・譯詩二篇-亡き友を記念して</li> </ul> <p>12. 女子青年会夏期修養会報告</p> <p>13. 前校長ファウスト博士送別記念事業記事</p> <p>14. 同窓会欄</p> <p>会計報告</p> <p>海を越えて逢ふ</p> <p>会員消息</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等女学部</li> <li>・専攻部聖書科</li> <li>・専攻部家政科</li> <li>・専攻部英文科</li> <li>・専攻部音楽科</li> </ul> <p>15. 追加記事</p>	<p>高二 八巻淑子</p> <p>高二 鈴木義子</p> <p>同窓会員 船坂きみ子</p> <p>家二 岡野悦子譯</p> <p>音二 水戸照子譯</p> <p>音二 佐久間千枝譯</p> <p>家二 美秋</p> <p>高三 戸田春子</p> <p>同窓会員 男澤 愛</p> <p>英二 門間チヨコ、平塚ミネコ</p> <p>英二 平塚ミネコ</p> <p>英三 矢野恵智子、音三 澤木恵美子</p> <p>高五 関 うめ子、高五 小島みち子</p> <p>高四 山本ませ子、高四 渡邊あい子</p> <p>小野玉枝</p>
第12号	1933年	<p>佐々重の広告</p> <p>1. 口繪写真目次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和7年3月専攻部卒業生写真</li> <li>・鈴木クアルテツト演奏会記念写真(校報第22号参照)</li> <li>・文芸大会(校報参照)</li> <li>・春の旅の記念(本誌旅行記事参照)</li> <li>・夏の山風(校報及び本誌記事参照)</li> <li>・秋の陽の下(校報参照)</li> <li>・三先生祝賀式(校報及び本誌)</li> </ul> <p>2. 校報欄</p> <p>ハンセン・リンゼイ・原田・三先生25年勤続祝賀式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祝辞</li> <li>・祝辞</li> <li>・祝辞</li> <li>・祝辞</li> <li>・祝電</li> <li>・祝辞</li> <li>・答辞</li> <li>・答辞</li> <li>・答辞</li> </ul> <p>3. 学芸と想華</p>	<p>クリイテ校長</p> <p>同窓会代表 矢野きよせ</p> <p>同窓会東京支部代表 前島その</p> <p>生徒代表 永沼美和子</p> <p>前校長 ファウスト博士</p> <p>ハンセン先生</p> <p>リンゼイ先生</p> <p>原田先生</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の出生に就て</li> <li>・色彩と音響</li> <li>・罪と恩寵の分野</li> <li>・愛国(新渡戸博士)</li> <li>・あこがれの国(ラゲレフ女史)</li> <li>・高原の乙女に寄する(ワーズワス)</li> <li>・都会の一隅(ローゼンブラット)</li> <li>・古代英語の俄勉強</li> <li>・夜鶯と薔薇(ワイルド)</li> <li>・手紙とうそ(ベネット)</li> <li>・童話創作の研究(創作) (批評)</li> <li>・児童教育の片々</li> <li>・断想</li> <li>・雑詠</li> <li>・巢立ちゆく</li> <li>・晴れる日曇る日</li> <li>・雪割草のローマンス</li> <li>・穴原に遊ぶ</li> <li>・黄色の葉(スチヴンソン)</li> <li>・心貧しきもの</li> <li>・心</li> <li>・雪の思ひ出</li> <li>・我家のタベ</li> <li>・愛する友</li> <li>・雪</li> <li>・たそがれの風景</li> <li>・遠方の父に</li> <li>・読本巻一を終へて</li> <li>・病める母に</li> <li>・父母への手紙</li> <li>・兄さんへ</li> </ul>	賛助会員 菊澤季生 賛助会員 高野 劉 賛助会員 館岡 剛 同窓会員 及川トキ譚 同窓会員 江刺家 愛譚 同窓会員 矢野恵智子譚 同窓会員 松澤英子譚 英文三年 平塚ミネ譚 英文三年 永沼美和子譚 英文三年 門間千曜子譚 家政三年 河野加代 家政三年 遠藤君江 家政三年 内海濱子 家政三年 三好幸子 家政三年 三好幸子 高女五年 すずめ 高女五年 C・T 高女五年 翠 高女五年 渡邊 愛 高女五年 渡邊せん 賛助会員 中島慶治 高女四年 S 高女三年 山本敏子 高女三年 一見よし子 高女三年 董 高女三年 今澤良江 高女三年 西村敏子 高女一年 鈴木稲代 高女一年 登坂美春 高女一年 小島弘子 高女一年 伊東京子 高女一年 新妻勝子
		4. 女子青年会欄	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期修養会報告(一)</li> <li>・夏期修養会報告(二)</li> <li>・夏期修養会報告(三)</li> <li>・夏期修養会報告(四)</li> <li>・夏期修養会報告(五)</li> </ul>	聖書三年 笠原美沙子 音楽二年 早坂 花 聖書一年 齋藤徳子 高女五年 大友よし、千葉孝子 三品延子、石川百合 高女四年 佐藤ひさ子
		5. 旅行とキャンプ	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道旅行記</li> <li>・関西旅行記 伊勢詣</li> <li>・関西旅行記 二見が浦</li> <li>・関西旅行記 奈良見物</li> <li>・関西旅行記 京都</li> <li>・関西旅行記 京都二日目</li> <li>・作並キャンプ</li> </ul>	家政三年 升 はる 高女五年 齋藤房子 高女五年 菅野小萩 高女五年 大友よし 高女五年 門山敏子 高女五年 谷井たつの 家政二年 佐沼恵奈子
		6. 同窓会欄	

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会会計報告</li> <li>・第17回生宮城様の歓迎会</li> <li>・会員消息 高等女学部(24回、27回、28回、29回、30回、31回、33回、34回、35回、36回、37回、40回)</li> <li>・会員消息 専攻部家政科(13回、16回)</li> <li>・会員消息 専攻部英文科(8回、10回、12回、15回)</li> <li>・会員消息 専攻部音楽科(10回)</li> <li>・東京支部</li> <li>・札幌支部</li> <li>・専攻部聖書科</li> <li>・ミス リンゼイを送る集ひ</li> </ul> <p>7. 説教と講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人を奴隷とする自由と人を自由とする服従</li> <li>・仙台を中心とせる郷土史</li> <li>・食物と健康</li> </ul> <p>三陸沿岸地方震災義捐 編輯後記 ビクターコロムビアレコード 広告 フランスパン常食改善会 広告</p>	<p>クリイテ校長 齋藤報恩会主事 小倉博氏 東北帝国大学教授 近藤正二博士</p>
第13号	1933年	<p>昭和9年度生徒募集</p> <p>1. 口繪写真目次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和8年3月専攻部卒業生</li> <li>・昭和8年4月高女部新入生のニコニコ</li> <li>・昭和8年3月高女部卒業生</li> <li>・5月高女5年関西旅行(104頁参照)、専攻部大高森へ遠足</li> <li>・6月同窓会バザーの校庭(113頁参照)</li> <li>・菊地よし子姉歓迎会(7年11月)、英文科同窓会(8年6月一見先生撮影)</li> <li>・同窓生写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>弘前の同窓生(6月職員十和田遠征の際、一见先生撮影)</li> </ul> </li> <li>33回生会(5月、115頁参照)</li> <li>・7月蔵王登山(一见先生撮影、108頁参照)、高山キャンプ(109頁参照)</li> <li>・7月音楽三年演奏旅行(11頁参照)、10月山の寺へ遠足(110頁参照)</li> <li>・専攻部バスケット選手、高女部バスケット及バレー選手(33、106頁参照)</li> <li>・10月大運動会(33頁、107頁参照)</li> <li>・11月文芸大会(30頁参照)</li> <li>・11月仙台市内女学校総合音楽会に出演した合唱団(公会堂にて)</li> <li>・12月大演奏会に出演のウエルクマイスター及びシロタ氏</li> <li>・10月宮城 尚綱女子青年総合修養会(99頁参照)</li> <li>・12月急死された石田房子先生(80頁参照)</li> </ul> <p>2. 校報欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年度生徒募集</li> <li>・本校創立50周年近づく</li> <li>・三陸震災義捐金報告</li> <li>・寄附謝禮</li> <li>・第41回卒業式</li> <li>・卒業生状況</li> <li>・学校日誌</li> <li>・在学生徒数</li> </ul>	

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽科報告</li> <li>・挨拶</li> <li>・国粹について</li> <li>・満足と不満と何れが尊いか</li> </ul>	クリエイト校長 東北帝大教授 山田孝雄博士 クリエイト校長
		3. 校友会欄	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文芸部報告</li> <li>・音楽部報告・運動部報告</li> <li>・会計部報告</li> <li>・庶務部報告</li> </ul>	
		4. 学芸と想華	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖書が神の著書たる論理</li> <li>・御健康を祈る</li> <li>・禅と基督教</li> <li>・こどもびくしょう・珍しい植物</li> <li>・四季とりどり</li> <li>・雑詠・タイム</li> <li>・折にふれて</li> <li>・夢つくり</li> <li>・基督教主義専門学校の目的</li> <li>・愛の唄</li> <li>・最後の臺詞(チェホフ作)</li> <li>・職業婦人の生活標準</li> <li>・亡き石田先生を偲びて</li> <li>・折にふれて</li> <li>・クリスマスの晩</li> <li>・夏の思ひ出</li> <li>・先生</li> <li>・国民建設者なる家庭</li> <li>・学窓を去らんとして</li> <li>・夕立</li> <li>・月見草</li> <li>・賢い保険代理業者</li> <li>・海浜学校の一日</li> <li>・晩鐘</li> <li>・火事場の跡</li> <li>・忘れ得ぬ物語</li> <li>・裏の朝顔</li> <li>・田園の夕</li> <li>・妹</li> <li>・思ひ出</li> <li>・銀河</li> <li>・東京見物</li> <li>・コスモス</li> <li>・冬</li> </ul>	賛助会員 館岡 剛 賛助会員 濱田長松 賛助会員 小島次男 同窓会員 阿部 節 同窓会員 鈴木瑛女 同窓会員 佐藤てい 同窓会員 彰子 同窓会員 平塚峰子譯 英文三年 大内タケ譯 英文三年 Y・M譯 英文三年 酒井原初子譯 家政三年 田村 孝 音楽科 C・T 聖書科 某生 聖書一年 K 聖書一年 金子あき 英文予科 佐々木繁子 高女五年 Z・L譯 高女五年 三毛猫 高女五年 熊谷きよ子 高女五年 平間ゆき子 高女五年 W・Y譯 高女五年 庄司みつ子 高女五年 熊谷きよ子 高女四年 S・I 高女三年 大原春子 高女二年 コスモス 高女二年 伊東京子 高女二年 山田泰子 高女一年 星 英 高女一年 I・M 高女一年 原田温子 高女一年 菊地弥栄子 高女一年 I・M
		5. 女子青年会欄	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高女部行事報告</li> <li>・フライデースクール</li> <li>・第5回宮城・尚綱総合修養会</li> </ul>	聖書科 荒木つや



号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御殿場修養会報告</li> <li>・ 御殿場修養会報告</li> <li>6. 旅行・スポーツ・登山・キャンプ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西旅行の記</li> <li>・ スポーツあれこれ</li> <li>・ 蔵王登山の記</li> <li>・ 高山キャンプの一日</li> <li>・ 山の寺遠足</li> </ul> </li> <li>7. 同窓会欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計報告・本部報告</li> <li>・ 御禮</li> <li>・ お便りいろいろ</li> <li>・ 東京支部報告</li> <li>・ 神戸支部報告・札幌支部報告</li> <li>・ 会員消息(高等女学部)</li> <li>・ 聖書科</li> <li>・ 笠原みさ姉のことも</li> <li>・ 家政科</li> <li>・ 在仙英文科卒業生の集ひ</li> <li>・ 英文科</li> <li>・ 音楽科</li> </ul> </li> <li>8. 橄欖規定</li> </ul>	<p>専攻部 早坂 花 高女部 鈴木義子、菅原タツ、岡村直子</p> <p>高女五年 岡 ちとせ、菅原タツ、大橋八千代</p> <p>家政二年 高橋しげ子、田中禮子 高女二年 馬場年子 高女一年 和泉幸子</p> <p>原田ことち</p> <p>赤城茂代</p>
第14号	1934年	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口繪写真目次 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和9年度新入学生</li> <li>・ 専攻科卒業生(昭和8年度)</li> <li>・ 高等女学部卒業生(昭和8年度)</li> <li>・ 遠足(蒲生海岸)</li> <li>・ 高女5学年修学旅行(奈良若草山麓にて)</li> <li>・ 文芸会(ヘンデルとグレッテル)</li> <li>・ ミス・ピターソン独唱音楽会</li> <li>・ 英文科同窓会</li> <li>・ 30回卒業生在仙クラス会</li> <li>・ 創立50周年記念事業最初の委員会</li> <li>・ 故ミス・シュネーダーを偲ぶ</li> </ul> </li> <li>2. 校報欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創立50周年記念事業委員会経過報告</li> <li>・ 第42回卒業式順序</li> <li>・ 在校生徒数</li> <li>・ 学校日誌</li> <li>・ クリーテ校長の休養渡米を送る</li> </ul> </li> <li>3. 講演と説教 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嵐に備へて建てよ</li> <li>・ 金本位制を中心として見たる経済の現状</li> <li>・ 故メーリ・シュネーダー姉葬儀に於ける説教</li> <li>・ メーリ・エリザベス・シュネーダー履歴</li> <li>・ 弔辞</li> <li>・ 弔辞</li> <li>・ 弔辞</li> </ul> </li> </ol>	<p>クリーテ校長 七十七銀行営業部次長 坂井二郎 シー・デー・クリーテ 山田操 宮城女学校職員総代 シー・デー・クリーテ 宮城女学校生徒代表 小崎安喜子 宮城女学校同窓会代表 原田ことち</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・召されしミス・シュネーダーを偲びて</li> <li>・ミス・シュネーダーの想ひ出</li> </ul>	木村花子 17回卒業生 笹 愛
		4. 校友会欄	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和9年度上半期校友会報告</li> </ul>	
		5. 学芸と想華	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖書解釋者の個人的資格</li> <li>・国語の品詞の分類に就て</li> <li>・パウロに於ける信仰と行為</li> </ul>	賛助会員 館岡 剛 賛助会員 菊澤季生 賛助会員 小島次男
		卒業に際しての小感想集	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青い花</li> <li>・貝殻</li> <li>・父みまかりて</li> <li>・聖日の朝に</li> <li>・無題</li> <li>・廻れ右</li> <li>・あこがれ</li> <li>・初夏のひと時</li> <li>・神への切なる願ひ</li> <li>・母の祈り</li> <li>・春 隠れた美</li> <li>・春 青白き日</li> <li>・春</li> <li>・主にゆだねて</li> <li>・雑詠</li> <li>・牧師に物を聴くの会</li> <li>・感ずるままに</li> <li>・空と幻想</li> <li>・母をうたふ</li> </ul>	卒業生 遠藤清子 卒業生 遠藤清子 T子 T子 T子 沫那光 T子 聖書二年 K 聖書二年 K 英文二年 つりがね草
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Extract from Melancholy of the Countryside by Sato Haruo</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・或る夕方</li> <li>・或る夜亡き弟を追憶して</li> <li>・遠き友に送る</li> <li>・この黒髪</li> <li>・お留守番</li> <li>・チンドン屋</li> <li>・お団子</li> <li>・始めての歌</li> <li>・坊々の夢</li> <li>・時</li> <li>・春雨の夜</li> <li>・春の夜</li> <li>・春</li> <li>・またたく星</li> <li>・皇太子殿下の御降誕</li> <li>・親の恩</li> <li>・夏休みの思ひ出</li> <li>・兎</li> </ul>	英文三年 睦子 I・T B二年 S T・S S科 S子 家政 Z・A
		6. 女子青年会欄	
			高女五年 紺戸敦子 高女五年 遠藤 緑 高女四年 高女四年 菅野友子 小川幸子 高女四年 飯淵梅子 高女三年 高女二年 後藤 幸 高女二年 服部佳子 高女二年 和泉 幸 高女二年 中山新子 高女二年 小野球子 高女二年 上石マスコ 高女一年 細谷その 高女一年 橋本よし子 高女一年 佐々木英子 高女一年 齋藤まつ子

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻科報告</li> <li>・女学部報告</li> <li>・雑誌部報告</li> <li>7. 旅行記事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西旅行日記</li> </ul> </li> <li>8. 同窓会欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会会計報告</li> <li>・英文科同窓会記事</li> <li>・神戸支部報</li> <li>・東京支部ニュース</li> <li>・聖書科だより</li> <li>・告ぐ</li> <li>・昭和8年度決算報告(自8年4月至9年3月)</li> <li>・卒業生消息(32回)</li> <li>・野菊会開催の記</li> <li>・第30回生</li> <li>・英文科ニュース</li> <li>・50周年記念史料御願</li> <li>・ミス シュネーダーの遺筆集御願</li> </ul> </li> </ul>	高等女学部第五学年
第15号	1934年	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口繪写真目次 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月歸校せられたるミス・ハンセンとミス・リンゼー</li> <li>・25年御勤続の鈴木寅之進先生</li> <li>・文芸会高女4、5年英語劇</li> <li>・文芸会家政科劇</li> <li>・運動会</li> <li>・磐梯山登山</li> <li>・遠足(松島にて)</li> <li>・宮城女学校尚綱女学校合同女子青年会修養会</li> <li>・8月、急に永眠せられたる伊藤英吾先生</li> </ul> </li> <li>2. 校報欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本金募集概要</li> <li>・学校日誌</li> <li>・在学生徒数</li> <li>・文芸部報告</li> <li>・大運動会</li> </ul> </li> <li>3. 学芸と想華 <ul style="list-style-type: none"> <li>・浪漫派の音楽</li> <li>・パウロに於ける神秘思想と倫理</li> <li>・「ヴェニス」の商人の裁判を評して</li> <li>・短歌(秋風哀吟、海邊春日)</li> <li>・平和を愛する心</li> <li>・早朝に想ふ</li> <li>・緑にぬれつ</li> <li>・美和河の乙女</li> <li>・道化師</li> <li>・夜明</li> <li>・清水寺に合ひし</li> <li>・失望</li> </ul> </li> </ol>	賛助会員 高野 瀏 賛助会員 小島次男 同窓会員 平山信子 同窓会員 黒蝶 聖書三年 斎藤徳子 聖書三年 斎藤徳子 聖書三年 徳子 艶子 中谷明子 島田榮子 東時代 家政三年 M・M

号数	年	目次(記事)	執筆者
		・いこひ	家政三年 M・M
		・発見	家政三年 M・M
		・薔薇の妖精	英文科 F・K
		・理想?	音学一年 M・F
		・生くる道	音楽科 M
		・時江の死	聖書三年 吉田きみ子
		・うれしい便	高女一年 押野和子
		・星	西井ミイ
		・無邪気な妹	高女二年 大浦徳子
		・雪	高女二年 中山新子
		・銀杏木	高女三年 鈴木瑞子
		・落葉	高女四年 菅野友子
		・照る月	高女二年 佐々木富久子
		・小菊	高女二年 小新井圭子、小宮三千代
		・鼠	高女一年 田邊悦子
		・犬の親子	高女一年 小川みち
		・馬	高女一年 手島満里子
		・落葉の路を八木山	高女二年 氏家郁子
		・故郷	高女二年 原田温子
		・秋を聴く	高女二年 和泉幸子
		・夜	高女二年 小宮三千代
		・秋の夕暮	高女三年 小島弘子
		・糸	高女四年 田口信子
		・十六夜	高女五年 鈴木義子
		・暮鐘	高女五年 紺戸敦子
		・帰へる日	高女五年 小林糸子
		・足跡	泉 澄子
		4. 女子青年会欄	
		・第2学期青年会行事事項	
		・雑誌部訪問会報告	
		・女子青年会夏期修養会報告	
		・第6回宮城、尚綱総合演奏会	
		・学生聯盟成立に際して	斎藤徳子
		5. 同窓会欄	
		・昭和10年3月専攻部卒業予定者	
		・栄養料理講習会	
		・三株の白百合	岡部せん子
		・土曜会報告	鈴木達子
		・茶の会	西條邦子
		・活花の会	岩沼高子、蟻坂幸子、岡 ちとせ
		・獨乙会	
		・習字会	
		・早坂先生歓迎会	
		・東京同窓会報	
		・近感	石丸直子
		・家政科第5回生	氷見いと子
		・仙台ニュース英文同窓会	
		・ケテーさんのお集り	

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ニュース</li> <li>・英文科8回生</li> <li>・40回卒業生クラス会報告</li> <li>・神戸ニュース</li> <li>・舊き友を迎へて</li> <li>・感じたまま</li> <li>・第20回</li> <li>・第32回</li> <li>・聖書科便り</li> <li>・通常同窓会会計報告</li> <li>・鈴木寅之進先生勤続25年祝賀寄附者芳名</li> <li>・同窓会員名簿</li> </ul>	一同窓生
第16号	1935年	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口繪写真目次 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等女学部新入学生</li> <li>・高等女学部卒業生</li> <li>・専攻部新入学生</li> <li>・専攻部卒業生</li> <li>・オラトリオ「ホーリーシティー」演奏会</li> <li>・北山ヘビクニック女子青年会</li> <li>・ホフマン先生送別会</li> </ul> </li> <li>2. 説教欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・光の生命</li> <li>・昇天祭に於ける説教</li> </ul> </li> <li>3. 学芸と想華欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の科学より観たる生命観</li> <li>・日本精神</li> <li>・歩き方と心持</li> <li>・机</li> <li>・女学生になって</li> <li>・叔母さま</li> <li>・雀</li> <li>・青葉</li> <li>・蔭緑</li> <li>・亡き兄をしたひて</li> <li>・或夜の出来事</li> <li>・落日</li> <li>・そぞろ歩き</li> <li>・あきらめ</li> <li>・憶ひ出</li> <li>・遠足</li> <li>・久遠の道</li> <li>・さみとの空</li> <li>・心の動くままに</li> <li>・水すまし</li> <li>・はてしなき幸</li> <li>・月見草</li> <li>・雑感</li> <li>・六月の微笑</li> </ul> </li> </ol>	フェスパーマン 賛助会員 館岡 剛  賛助会員 佐藤義雄 賛助会員 山本信道 女学一年 菅原敏子 女学一年 薄場みえ子 女学一年 三宅多賀子 女学一年 草刈恵子 女学二年 鈴木安子 女学二年 大庭龍子 女学二年 三品恒子 女学二年 齋藤まつ子 女学二年 田邊悦子 女学二年 三品恒子 女学三年 原田温子 女学三年 岩井光枝 女学三年 和泉幸子 女学三年 中山新子 女学四年 小島弘子 女学四年 小島弘子 女学四年 丹野静子 女学四年 高橋昌子 女学四年 佐藤てる子 女学四年 新妻勝子 女学五年 佐々木節子 女学五年 畠中秀子

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東関西地方修学旅行日記</li> <li>・折にふれて</li> <li>・子供の世界に</li> <li>・夏の天地</li> <li>・折にふれて</li> <li>・或る日に</li> <li>・或る印象</li> <li>・緑の蔭に</li> <li>・壁の絵</li> <li>・和歌</li> <li>・雑</li> <li>・日記</li> <li>・旅役者</li> <li>・夢と現</li> <li>・道路</li> <li>・緑に題す</li> <li>・農村と都会</li> <li>・此頃思ふこと</li> <li>・聖別</li> <li>・暗涙光</li> <li>・かよちゃんをお慰ひして</li> </ul>	女学第五学年 聖書科 石塚照子 棚木トシ子 棚木トシ子 聖書科 某 聖書科 某 鈴木淑子  英文科 みどり 英文科 工藤信枝 英文科 翠  家政科生 えみこ 家政科 T 鈴木淑子 庭恵巢 Y・L S 小崎安喜子
		4. 女子青年会欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女学部</li> <li>・第三学期</li> <li>・専攻部</li> <li>・光</li> <li>・一切のこと愛をもて行へ</li> <li>・第三学期</li> <li>・第一学期</li> <li>・財政部</li> <li>・青年会雑誌部</li> <li>・販売部</li> <li>・誘導部</li> <li>・社交部をお引きうけて</li> <li>・お仕事</li> <li>・奉仕部</li> <li>・フライデースクールに就いて</li> </ul>	田口信子  顧問 小島次男 会長 石川百合子  佐藤賜子 金子 秋 鈴木きく 蟻坂こう子 岡 ちとせ 虎岩とも子 石塚照子 棚木トシ子
		5. 同窓会欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの御礼</li> <li>・仙台同窓会の集り</li> <li>・英文科ニュース</li> <li>・家政科ニュース</li> <li>・聖書科ニュース</li> <li>・春の同窓会の報告</li> <li>・母校修学旅行団を迎へて</li> <li>・思へ出づる人々</li> <li>・通常同窓会会計報告</li> <li>・定期預金報告</li> </ul>	神戸同窓会支部 庄子克美 家政五年 絃子

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<p>6. 校報欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校日誌</li> <li>・第43回卒業式順序</li> <li>・本校職員人名</li> <li>・卒業生の状況</li> <li>・在学生徒数</li> <li>・寄附謝禮</li> <li>・東北冷害地義捐金報告</li> <li>・五拾周年記念事業報告</li> <li>・校友会記事</li> </ul> <p>第一回仙台夏期婦人講座</p> <p>①俳句の鑑賞/東北帝大教授 小宮豊隆</p> <p>②營養に関する23の話/東北帝大教授 近藤正二</p> <p>③仙台に於ける建築(幻燈使用) /仙台高工教授 小倉 強</p> <p>④西洋画の技巧について(幻燈使用) /東北帝大助教授 兒島喜久雄</p> <p>⑤音楽心理(レコード使用) /本校講師 東北帝大副手 高野 瀏</p>	
第17号	1936年	<p>1. 口繪写真目次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海上雲影</li> <li>・文芸会 童踊</li> <li>・文芸会 高女五年劇</li> <li>・文芸会 英文科劇</li> <li>・文芸会 家政科劇</li> <li>・ライダール先生独唱会</li> <li>・御茶会</li> <li>・二十五日会</li> <li>・聖書科盛岡訪問</li> </ul> <p>2. 学芸と想華</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そらを仰ぐ心</li> <li>・Treasures</li> <li>・名匠の教室を見る</li> <li>・A Little Comment on Smile</li> <li>・ローマ書一章十八節及至三章廿節の分類に就て</li> <li>・瀬戸内海點綴</li> <li>・私共の生活</li> <li>・卒業に際しての感想</li> <li>・自殺</li> <li>・新年風景</li> <li>・札幌の冬</li> <li>・真実と嘘</li> <li>・想心</li> <li>・思心出</li> <li>・冬</li> <li>・和歌</li> <li>・和歌</li> <li>・和歌</li> <li>・和歌</li> <li>・宵の星</li> <li>・あきらめ</li> </ul>	<p>賛助会員 中島慶治</p> <p>H.P.Smith</p> <p>山田 操譯</p> <p>平出サタコ</p> <p>賛助会員 小島次男</p> <p>小野玉枝</p> <p>高女五年 佐藤貞子</p> <p>高女五年 大場ワカ</p> <p>高女五年 横尾清</p> <p>高女四年 佐藤てる子</p> <p>高女四年 松坂欣榮子</p> <p>高女四年 高橋昌子</p> <p>高女四年 尾形しゆく</p> <p>高女四年 鈴木瑞子</p> <p>高女四年 岩佐清子</p> <p>高女三年 小宮三千代</p> <p>高女三年 和泉幸子</p> <p>高女三年 原田温子</p> <p>高女三年 佐々木富久子</p> <p>高女三年 千鳥</p> <p>高女三年 夢路はるか</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖邊</li> <li>・召されし友</li> <li>・小供の兵隊さん</li> <li>・黄昏</li> <li>・雪二題</li> <li>・我が幼時</li> <li>・私の嫌ひなもの</li> <li>・針</li> <li>・私の好きな歌</li> <li>・淋しいお家</li> <li>・夏会津白虎隊の墳墓に詣で</li> <li>・或女店員よりの書簡</li> <li>・月見岬キャンプ</li> </ul> <p>3. 女子青年会欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二学期各科報告</li> </ul> <p>4. 同窓会欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愈本年が創立50周年</li> <li>・創立50年記念委員会総会</li> <li>・音楽科消息</li> <li>・第43回</li> <li>・同窓会</li> <li>・在仙英文科同窓生の会</li> <li>・聖書科たより</li> <li>・第32回生消息</li> <li>・通常同窓会会計報告</li> </ul> <p>5. 校報欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校日誌</li> <li>・寄附謝禮</li> <li>・年末同情金報告</li> <li>・活花の会</li> <li>・日本書の会</li> <li>・25日会の記</li> <li>・聖書科3学年の見学旅行</li> <li>・キャンプ7月27日高山海岸にて</li> <li>・蔵王登山</li> <li>・運動会記</li> <li>・バレー部の思ひ出</li> <li>・籠球部</li> <li>・文芸部報告</li> <li>・編輯後記</li> </ul>	<p>高女三年 岩井光枝</p> <p>高女三年 原田温子</p> <p>高女二年 山本初子</p> <p>高女二年 鷗田美や子</p> <p>高女二年 三浦しん</p> <p>高女二年 山村多賀子</p> <p>高女一年 酒井原和子</p> <p>高女一年 菅原敏子</p> <p>高女一年 三宅多賀子</p> <p>高女一年 鹿岡糸子</p> <p>聖書科 紫 峰</p> <p>英文科 T子</p> <p>聖書三年 仁子</p> <p>一見 清</p>
第18号		欠号	
第19号	1937年	<p>1. 口繪写真目次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場スケッチ</li> <li>・大講堂定礎式</li> <li>・本年度高女部第一学年生</li> <li>・宮城、尚綱両女学校女子青年会総合修養会</li> <li>・大連同窓会</li> <li>・本年度キャンプ発会式</li> </ul>	大越光風



号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャンプの或日</li> <li>・ 登山隊一行(蛾ヶ温泉にて)</li> <li>・ 登山隊一行(蔵王にて)</li> <li>・ 運動会</li> </ul>	
		<p>2. 講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和11年度卒業説教 馳場を走れ</li> <li>・ 生物界の神秘</li> <li>・ 欧州宗教文芸史(筋骨)</li> <li>・ ローマ字書き方の統一</li> <li>・ 国民歌謡</li> <li>・ 逆コース満州ところどころ</li> <li>・ 小品文</li> <li>・ ヘンリー、ヴァンダイク</li> <li>・ 手をひきて 鈴木みゆきさんとヘレンケラー講演会に行く 或る日盲学校にて</li> <li>・ をりふし姉に妹のよめる</li> </ul>	<p>クリーテ校長 一見 清 中島慶治 菊澤季生 菊澤季生 小野玉枝 同窓会員 S・T 同窓会員 S・T譯 女25 池田ふみ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シェリーと『フロメシウス アンバウンド』に就いて</li> </ul>	<p>家5回生 氷見伊都子 女32回生 鈴木玖磨子 女36回生 遠藤道子 女28回生 中村菊代譯</p>
		<p>3. 文苑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰省</li> <li>・ 北海道</li> <li>・ 登山</li> <li>・ 御殿場の思出</li> <li>・ 思ひ出</li> <li>・ 明日を思ふ</li> <li>・ をたまき</li> <li>・ 夕ぐれの丘</li> <li>・ 若き心</li> <li>・ 我が家庭</li> <li>・ ある夜</li> <li>・ 宮城女学校に入学して</li> <li>・ 噴水と薔薇のアーチ</li> <li>・ 或る日</li> <li>・ 秋の墓地</li> <li>・ 五月の迷ひ</li> <li>・ 夜の窓辺</li> <li>・ 校長の挨拶 新年のあいさつ</li> <li>・ 教職員一同挨拶「時局につき年賀欠禮仕候」</li> </ul>	<p>高女一年 柳原千代子 高女二年 石田洋子 高女三年 白石よし子 高女四年 高橋玲子 五年 服部佳子 五年 和泉幸子 五年 和泉幸子 五年 岩井光枝 五年 原田温子 英文予科 出村絢 英文予科 細谷たか子 英文予科 志賀恭子 英文予科 長谷川キミ 英文予科 熊田秋子 英文予科 木竹利意子 秋 由美子 秋 由美子</p>
		<p>4. 同窓会欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐伯欣子様よりの御便り</li> <li>・ 富士を仰ぐ</li> <li>・ 朝鮮たより</li> </ul>	<p>佐柳千代、赤澤(秋保)田島、伊都子  八島秀子 市岡小松</p>
		<p>5. 秋季同窓会記 女学部 ・ 22回</p>	

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24回</li> <li>・ コスモスの会の記</li> <li>・ 30回の皆様様へ</li> <li>・ 30回</li> <li>・ 31回</li> <li>・ 38の回消息</li> <li>・ 39回</li> <li>・ 41回</li> <li>・ 42回</li> <li>・ 44回</li> <li>・ 45回</li> <li>家政科</li> <li>・ 21回</li> <li>・ 零会報告</li> <li>英文科</li> <li>・ 8回</li> <li>・ 9回</li> <li>・ 10回</li> <li>・ 17回</li> <li>・ 20回</li> <li>音楽科</li> <li>・ 9回</li> <li>・ 11回</li> <li>・ 18回</li> <li>・ 19回</li> <li>聖書科</li> <li>・ 聖書科</li> <li>・ クラスニュース</li> </ul>	
		<p>6. 校報欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校日誌</li> <li>・ 在学生徒数</li> <li>・ 寄附謝禮</li> <li>・ 大講堂定礎式次第</li> <li>・ 宮城女学校家庭会記録</li> <li>・ キャンプ</li> <li>・ 運動会記事</li> <li>・ 登山</li> <li>・ 蔵王登山の思出</li> <li>・ 有志富士登山</li> <li>・ 講習部報告</li> <li>・ 通常会計報告</li> <li>・ 記念基金応募者芳名</li> </ul>	
		<p>7. 女子青年会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 篝火の集りの心理</li> <li>・ 感想</li> <li>・ 富士岡荘</li> <li>・ 第32回御殿場修養会報告</li> <li>・ 御殿場修養会に出席して</li> </ul>	<p>丸山敏子  青年会賛助員 蟻坂孝子  女学科青年会 中山新子  専攻部  専攻部青年会 工藤敏子</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国総会に出席して</li> <li>・クラブ奉告</li> </ul>	石塚照子
第20号	1938年	<p>書</p> <p>1. 写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文芸会</li> <li>・キャンプ、遠足、運動会、勤労奉仕</li> <li>・東京同窓会</li> </ul> <p>2. A Message to Miyagi College Graduates</p> <p>3. 学芸と想華</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンテに於ける時代と精神の相関(ダンテ研究への一序曲)</li> <li>・重い水の話</li> <li>・瞬間の美</li> <li>・英詩紹介</li> <li>・マンスフィールドの芸術的価値</li> </ul> <p>4. 文苑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(題名無し)</li> <li>・人生と愛</li> <li>・キャンプ日記</li> <li>・猫</li> <li>・大水</li> <li>・告別式</li> <li>・汽車の中で</li> <li>・修学旅行</li> </ul> <p>5. 女子青年会欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御殿場修養会報告</li> <li>・キャンドルサービス</li> <li>・東山の二病院を訪問して</li> <li>・協議会</li> <li>・夕拝</li> <li>・第10回宮城尚綱総合会修養会</li> <li>・修養会についての感想</li> <li>・ひのきの樹蔭</li> </ul> <p>6. 校報欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校日誌</li> <li>・銃後行事</li> <li>・文芸部報告</li> <li>・同窓会の皆様へ</li> <li>・運動会</li> </ul> <p>7. 同窓会欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和13年底務報告</li> <li>・同窓会通常会計報告</li> <li>・聖書科だより</li> <li>・家政科ニュース</li> <li>・英文専攻科</li> <li>・卒業生消息</li> <li>・東京支部秋季同窓会次第</li> <li>・住所変更</li> <li>・弔辞</li> </ul>	<p>大越 直 題</p> <p>Carl D. Kriete</p> <p>宮崎信彦 田島治兵衛 平出サタコ 大内タケ F・C</p> <p>英文二年 佐藤静子 家政科一 白バラ 高女一年 小宮里子 英文二年 佐藤 静 三年 登坂ときわ 四年A組 南條和子 四年B組 柴田米子 高女五年 三品恒子</p> <p>高女五年 三品恒子 五年 山村多賀子 五年 佐々木温子 四年A組 南条和子 四年A組 林 みえ子</p> <p>音楽科二 鹽見 敏 専攻部 長谷川キミ</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
第21号	1940年	<p>書</p> <p>1. 写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内所見</li> <li>・勤労奉仕</li> <li>・弓道部</li> <li>・女子青年会歓迎会</li> </ul> <p>ワイドナー先生履歴</p> <p>早坂先生を憶ふ</p> <p>2. A Message to Miyagi College Graduates</p> <p>3. 学芸と想華</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖母の軽業師</li> <li>・基督教の特異性</li> <li>・秋雑詠</li> <li>・兵隊さんと達磨さん</li> <li>・私の古いノートより</li> <li>・幸福とは</li> <li>・仙台ペン</li> </ul> <p>4. 文苑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新緑の郊外</li> <li>・秋蛩集</li> <li>・河畔の落日</li> <li>・英文二年雑詠集</li> <li>・秋</li> <li>・奉天の言葉</li> <li>・遠足</li> <li>・日向で</li> <li>・つりばし</li> <li>・青葉城趾</li> <li>・選挙</li> <li>・俳句について</li> <li>・修学旅行日記</li> <li>・修学旅行日記</li> <li>・修学旅行日記</li> </ul> <p>5. 女子青年会欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1939年度の会の歩みを顧みて</li> <li>・御殿場修養会の協議会について</li> <li>・YWCA修養会に出席して</li> <li>・御殿場修養会報告</li> <li>・聖書のクラスについて</li> <li>・キャンプファイヤー</li> </ul> <p>6. 校報欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校日誌</li> <li>・運動会</li> <li>・寄宿舎だより</li> <li>・学校への賜物</li> </ul> <p>7. 同窓会欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和14年度庶務報告</li> <li>・同窓会通常会計報告</li> </ul>	<p>一見先生</p> <p>Carl D. Kriete</p> <p>原田ことち</p> <p>Carl D. Kriete</p> <p>宮崎信彦</p> <p>小島次男</p> <p>黒蝶女</p> <p>黒蝶女</p> <p>平出サタヨ</p> <p>後藤藤子</p> <p>岡部せつ</p> <p>英文二年 和泉幸子</p> <p>英文二年 和泉幸子</p> <p>英文二年 和泉幸子</p> <p>音楽二年 勝本稔子</p> <p>一年 瀬戸堯子</p> <p>一年 熊坂たか子</p> <p>一年 福地禮子</p> <p>三年 秋保美代子</p> <p>三年 安積愛子</p> <p>四年 鈴木文子</p> <p>五年 柴崎千恵子</p> <p>五年A組 白石よし子</p> <p>五年A組 南條和子</p> <p>草刈恵子</p> <p>聖書科 丹波セツ</p> <p>英文二年 熊田秋子</p> <p>家政科二年 石田みどり</p> <p>四年 石田洋子</p> <p>五年A組 草刈恵子、南條和子</p> <p>前川清子</p>

号数	年	目次(記事)	執筆者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖書科だより</li> <li>・家政科ニュース</li> <li>・近況</li> <li>・46回卒業生クラス会記</li> <li>・東京支部ニュース</li> <li>・住所変更</li> <li>・第47回女学部卒業生近況</li> <li>・編集後記</li> </ul>	7回生 加藤とら